



# りんご生産情報（4月号）

令和3年4月19日  
弘前西地区営農係

○降雨前散布を徹底し、散布間隔が空かないよう十分注意しましょう。

## 1、りんごの生態

発芽日で平年より約10日早く推移しており、展葉一週間の薬剤散布が始まっております。ふじの生態では平場で4月7日に展葉が確認され、平年に比べ11日程度進んでおります。

今後生態が平年並みに推移すると、ふじの開花日は4月30日頃になる見込みです。

ふじの生態	発芽日	芽出し当時	展葉日	開花日
中崎（平場）	3/30	4/2	4/7	(4/30)
住吉（中間）	3/30	4/2	4/9	(4/30)
弥生（山手）	4/1	4/5	4/12	(5/1)
農協平年	4/10	4/15	4/18	5/9

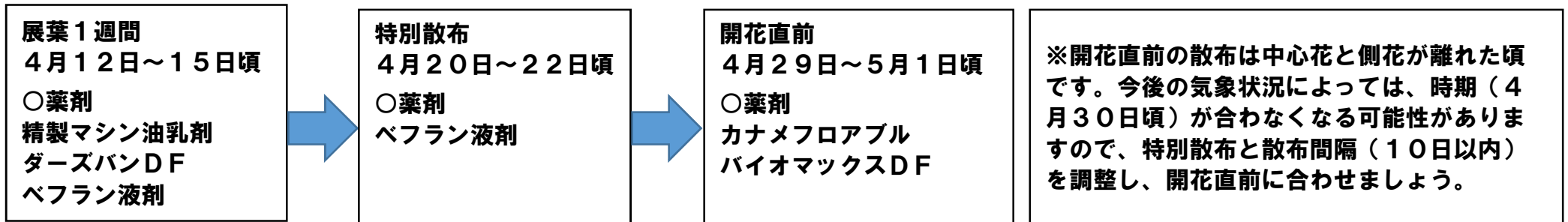
※、（ ）は平年値から予想した日になります。

## 2、農薬散布

発芽日が平年より早く推移したため、薬剤散布も平年より早く始まりました。散布基準日は4月15日頃で、生態が早い所では4月12日頃となりました。今後はふじの開花に合わせて特別散布を行い、下記の散布例を参考に薬剤散布を実施しましょう。

散布時期 反当散布量	対象 病害虫	薬剤名 及び混合順序	倍 数	1000ℓ 当り薬量	防除上の注意
2回目 特別散布(4/22頃) 300ℓ/10a	黒星病	ベフラン液剤	1,000倍	500ml×2本	・下記の参考例を参照してください。
3回目 開花直前(4/29頃) 350ℓ/10a	黒星病・腐らん病・ うどんこ病 モニリア病 ミダレカモンハマキ	カナメFL バイオマックスDF	4,000倍 2,000倍	250ml×1本 500g×1袋	・黒星病の重点防除時期となります。散布間隔は必ず10日以内としましょう。 ・散布日に降雨が予想される場合は、前倒して散布してください。
4回目 落花直後(5/9頃) 350ℓ/10a	黒星病・黒点病 腐らん病・うどんこ病 ミダレカモンハマキ リンゴコカモンハマキ リンゴハダニ	ミギワFL ジマンダイセン水和剤 バイオマックスDF (※バロックFL)	4,000倍 600倍 2,000倍 (2,000倍)	125ml×2本 1.67kg×1袋 500g×1袋 (500ml×1本)	※昨年リンゴハダニの発生が確認された園地では、落花直後にバロック(FL)2,000倍を加用しましょう。
5回目 落花10日後(5/19頃) 450ℓ/10a	黒星病・黒点病 斑点落葉病 腐らん病・うどんこ病 すす斑・すす点病 クワコカイガラムシ アブラムシ・ハダニ類 キンモンハモグリガ	ユニックス顆粒水和剤 ジマンダイセン水和剤 スプラサイド水和剤 ネオミクス	2,000倍 600倍 1,500倍 250倍	500g×1袋 1.67kg×1袋 667g×1袋 4kg×1袋	

参考例：基準防除



### 3、結実対策

#### ○マメコバチ

- 巣箱設置は展葉1週間後頃の薬剤散布から2日以上経過してから設置しましょう。
- 巣箱の前に穴を掘り、土取り場を設置してください。土取り場が乾燥している場合は散水して湿らせましょう。

#### ○人工授粉

	ボンテン	ラブタッチ	人工授粉は下枝や内枝を中心に行いましょう。
10aあたり作業時間	8時間程度	2時間程度	
10aあたり花粉使用量	花粉12g + 石松子50g	花粉20g + 石松子80g	

- 花粉の採取量は、花が1手籠で約20~30a分採取出来ます。(王林の場合、乾燥薬でおおよそ50ccになります)

#### ○各開葯所受付日

4月26日頃から開始予定  
確定次第、有線放送等でお知らせします。



←開葯に最適な状態な花  
つぼみがピンクの風船状態から葯が黄色い花  
採取に早い、遅い花→  
蕾がまだ赤い、葯の色が茶色い花

